

各高等学校長 様

岩手県高等学校文化連盟放送専門部
専門部長 村井伸吾
(岩手中・高等学校長)

第 40 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第 35 回岩手県高等学校放送新人大会の開催について(ご案内)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記のとおり標記大会を開催いたしますので、貴校 放送(視聴覚)部(委員会)等の大会参加についてご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 日時 平成 29 年 10 月 30 日(月) 13:30~17:00
平成 29 年 10 月 31 日(火) 9:00~16:50
ただしエントリー状況によっては 10 月 31 日(火)一日開催とします。
- 2 会場 岩手県民会館 中ホール他 〒020-0023 盛岡市内丸 13-1 電話 019-624-1171
- 3 要項等 別紙のとおり。エントリー締切は 10 月 10 日(火)正午。
参加申込書・各種様式等は、放送専門部のウェブサイトからダウンロードしてください。

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

- 4 その他 東日本大震災の被災地・被災者の参加料は無料とします。
被災地・被災者の判断は、各校の校長に一任します。

大会事務局

岩手県高文連放送専門部事務局

岩手中・高等学校 松田 満

〒020-0062 岩手県盛岡市長田町 7-60

m-matsuda@iwate-jh.ed.jp

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

第40回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第35回岩手県高等学校放送新人大会 開催要項

1. 目的

豊かな創造性と未来への展望を持つ人間としての高校生に対して、校内放送をとおり番組の制作技術の向上、表現力、創造性の開発および、豊かなコミュニケーションと文化活動の振興を図る。大会は、岩手県高等学校総合文化祭の一環、ならびに東北高等学校放送コンテストおよび全国高等学校総合文化祭放送部門の予選として実施する。

2. 主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

3. 共催

株式会社IBC岩手放送・株式会社テレビ岩手・
株式会社パネット

4. 主管

岩手県高等学校総合文化祭実行委員会・岩手県高等学校文化連盟放送専門部

5. 後援

岩手県高等学校長協会・岩手県高等学校教育研究会・
盛岡市教育委員会・報道各社

6. 日時

平成29年10月30日(月) 14:00~17:00

平成29年10月31日(火) 9:00~16:50

エントリー状況によっては10/31の一日開催とすることがある。詳細は、後日参加校に送付する実施要項による。

7. 会場

岩手県民会館 〒020-0023 岩手県盛岡市内丸13-1
電話 019-624-1171

8. 開催部門とエントリー数

- (1) アナウンス部門 各校6名以内
- (2) 朗読部門 各校6名以内
- (3) オーディオピクチャー部門 各校2本以内
- (4) ビデオメッセージ部門 各校2本以内
- (5) ラジオキャンペーン部門 各校2本以内
- (6) テレビキャンペーン部門 各校2本以内

9. 審査員

専門職審査員および教育職審査員による。

10. 表彰と上位大会推薦

いずれの部門も、エントリー数によって表彰数を変更することがある。

(1) アナウンス部門・朗読部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)…

全国総文祭・東北大会推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)…

全国総文祭・東北大会推薦

優良賞 3 賞状…東北大会推薦

入選 8 賞状…東北大会推薦

(2) オーディオピクチャー部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)…全国総文祭推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)

(3) ビデオメッセージ部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)

優秀賞 1 賞状・副賞(楯)

優良賞 2 賞状

全国総文祭推薦は、オーディオピクチャーの代表以外の上位2校とする

(4) ラジオキャンペーン・テレビキャンペーン部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)…東北大会推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)…東北大会推薦

優良賞 5 賞状…東北大会推薦

全国総文祭CM部門への推薦は、AP・VMの代表以外のテレビキャンペーン部門の上位1校を原則とする

11. 各種規定

制作・審査規定、各種様式等は別に定める。これらは放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。

12. エントリー手続き・提出物

別表の一覧のとおりとする。

エントリー後の変更は認めない。

13. その他

(1) この大会のために集められた個人情報(所属学校名、氏名、学年、性別、入賞者の成績)については、大会の実施、主催者に関連する記録物(印刷媒体、ウェブサイト、放送等)、大会成績の報道機関への提供以外には使用しない。

(2)使用著作物については、著作隣接権を含め、権利者の許諾を得るとともに、制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。

(3)応募された番組などは、放送等で公開されることがある。制作にあたっては、番組に登場する著作物の著作者や出演者、協力していただいた方々などから、公開の承諾を得ておくこと。

別表 手続一覧

	内容・方法	締切
エントリー 手続き	<p>参加申込書…メールで事務局に送付する。様式は放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。</p> <p>http://www2.iwate-ed.jp/housou/</p> <p>送付先: housou.iwate@gmail.com</p> <p>参加料…各部門とも 1 エントリーにつき, 1,000 円。次の口座に学校名で振込むこと。</p> <p>岩手(いわて)銀行 上田(うえだ)支店 普通 2023372</p> <p>岩手県高等学校文化連盟放送専門部</p> <p>専門部長 村井伸吾(むらいしんご)</p> <p>振込手数料は各校負担, 参加料の領収書は銀行発行のものとする。</p> <p>なお, 東日本大震災の被災地・被災者の参加料は無料とします。被災地・被災者の判断は, 各校の校長に一任します。</p>	10月10日(火) 正午必着
提出物	<p>全部門の原稿/番組進行表各 3 部, 番組各部門のメディア…10月30日 13:30 に引率顧問が会場に持参する。持参できない場合は, 10月30日正午必着で事務局に送付する(費用は各校負担)。</p> <p>送付先: 〒020-0062 盛岡市長田町 7-60</p> <p>岩手中・高等学校内 高文連放送専門部事務局 松田 満</p> <p>様式は, 制作・審査規定を参照し, 放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。エントリー番号は, 後日発表される実施要項によること。</p> <p>http://www2.iwate-ed.jp/housou/</p> <p>番組各部門のメディア(ディスク)本体とケースには, 油性ペン等で, 次の内容を記入すること。書式は指定しない。</p> <p>部門名・エントリー番号, 学校名, 番組名, 審査用・バックアップ用の別</p>	10月30日(火) 13:30 会場持参または正午事務局必着

上位大会等は次のとおり。以下に参加できない場合は新人大会にエントリーしないこと。

- ・第 42 回全国高等学校総合文化祭放送部門 平成 30 年 8 月 8 日(水)～10 日(金) 長野県岡谷市
- ・第 21 回東北高等学校放送コンテスト 平成 30 年 2 月 3 日(土)～4 日(日) 岩手県盛岡市
- ・アナウンス朗読講習会 平成 29 年 12 月 23 日(土) 岩手県公会堂 アナ朗の東北大会進出者対象
- ・番組講習会 平成 29 年 11 月 22 日(水) 岩手県民会館 番組の東北大会進出校対象

※ 理事ならびに引率顧問の皆様には、運営と審査を分担していただきます。

運営・審査をお願いする皆様には、当日の昼食を準備いたします。

実施要項(エントリー番号、係分担、日程の詳細等)は、エントリー確定後、連絡いたします。

第 35 回岩手県高等学校放送新人大会 制作・審査規程

1. アナウンス部門

- (1)内容 次のア、イのいずれかの規定による。
- ア NHK 杯全国高校放送コンテストの規定：自校の校内放送に使用するものとし、原稿を生徒が自作したものに限り。
- イ 次年度の全国高等学校総合文化祭放送部門の規定：郷土の話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿。なお、新人大会と東北大会では、静止画は使用できない(全国総文祭では XGA(1024×768ピクセル)の JPEG 静止画 5 枚以内を投影できる)。
- (2)規定時間 エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)と氏名(学校名を読まない)を読むこととし、それらを含め、1 分 10 秒以上 1 分 30 秒以内。
- (3)原稿様式 次のア・イにより作成する。
- ア 表紙ならびに本文は様式 1 による。
- イ 原稿の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで、3 部作成する。
- (4)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。
- ア 内容
- (a)素材の選び方は適当であるか
- (b)文章表現は適当であるか
- イ アナウンスの技術
- (a)自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか
- ・発声・発音・マイクの使い方
- (b)正しく伝える抑揚表現ができているか
- ・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント
- (c)間(ポーズ)は適切か
- ・テンポ・ポーズ
- (5)予選
- ア 出場者は、概ね 30 名ずつの会場に分かれて、エントリー番号順に発表を行う。
- イ 各会場から上位同数、計 14 名を決勝に推薦する。

2. 朗読部門

- (1)内容 次のア、イのいずれかの規定による。いずれの場合も作品の改変は認めない。抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。
- ア 次年度の NHK 杯全国高校放送コンテストの指定作品、またはその作家の作品。なお指定作品は次のとおり。
- ①『文鳥・夢十夜』夏目漱石(新潮文庫、平成 14 年改版以降のものに限る)
- ②『なんとなく日々』川上弘美(新潮文庫)
- ③『リボン』小川糸(ポプラ文庫)
- ④『賢者の贈りもの 0・ヘンリー傑作選 I』0・ヘンリー、小川高義訳(新潮文庫、平成 26 年発行以降のものに限る)
- ⑤『土佐日記』紀貫之(現代語訳不可、出版社不問)
- ①②④は収録作品のいずれも可
- イ 次年度の全国高等学校総合文化祭放送部門の規定：それぞれの郷土にゆかりのある作家または作品。なお、SE や BGM は使用できない。(全国総文祭では SE や BGM を併用できる)。
- (2)規定時間 エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)、氏名(学校名を読まない)、著者名(訳者名は読まない)、書名(ア①②は短編名)を読むこととし、それらを含め、1 分 30 秒以上 2 分 00 秒以内。
- (3)原稿様式 次のア～ウにより作成する。
- ア 表紙ならびに本文は様式 1 による。
- イ 原稿の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで、3 部作成する。
- ウ 短編集を選択した場合は、作品名の欄に短編名を記入する。
- (4)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。
- ア 内容
- (a)作品の選定は適当であるか
- (b)朗読として適切な部分を抽出しているか

イ 朗読の技術

(a) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か

- ・発声・発音・マイクの使い方

(b) 正しく伝える抑揚表現ができていないか

- ・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c) 間(ポーズ)は適切か

- ・テンポ・ポーズ

(5) 予選

ア 出場者は、概ね30名ずつの会場に分かれて、エントリー番号順に発表を行う。

イ 各会場から上位同数、計14名を決勝に推薦する。

3. オーディオピクチャー部門

(1) 内容 郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内容。CDによるステレオ音声とJPEG形式のデジタル静止画像を併用する作品とする。ドキュメンタリー、ドラマ等の手法は問わない。

(2) 規定時間 5分以内

(3) 音声制作様式 次のア～ケにより制作する。

ア CD-DA形式で作成したCDならびにバックアップCDを提出する。

イ CDとケースには、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 再生は、ステレオで行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 本編の最後に「制作は〇〇高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

カ クレジットコールを含め、1つのトラックにまとめる。なお、クレジットコールにはBGMや効果音をつけないこと。

キ 計時は本編の最初の音から、終わりのクレジットコールの「制作は〇〇高等学校(放送部・委員会)でした」の「た」の音までとする。

(4) 静止画制作様式 次のア～オにより制作する。

ア 使用順の数字を付したJPEGファイル(例:001.jpg 002.jpg …)を収めたCD-ROMならびにバックアップCD-ROMを提出する。

イ CD-ROMとケース、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)、学校名とタイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 静止画像は25画像以内、総容量100MB以内、サイズはWXGA(1366×768ピクセル)またはXGA(1024×768ピクセル)のいずれかで統一すること。

エ 静止画はパソコンからビデオプロジェクタ1台で投影する。パソコンの操作は、発表校が行う。

オ 静止画の投影方法は次のとおり。

使用ソフト: Windows フォトビューアー

使用方法

- ・CD-ROMのフォルダを開く
- ・1枚目の画像を右クリック→「プログラムから開く」→「Windows フォトビューアー」
- ・1枚目の画像表示後「F11」キーを押す
- ・画面を右クリックして「一時停止」
- ・カーソルを画面外に動かして表示されないようにする
- ・「→」または「Enter」キーで次の画像に切り替える
- ・終了時には「Esc」キーを押す

(5) 番組進行表様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は、JISコードの範囲内の全角15文字相当以内とする。

イ 表紙は様式2-1、2ページ以降は様式2-2による「CUEシート」、様式2-3「使用著作物一覧」、様式2-4「音源使用許諾書」、様式2-5「取材許諾・著作物等ご提供のお願い」とする。他の著作物を使用していない場合はいずれも「なし」と記載する。

ウ 他の著作物を使用した場合は、JASRAC等の明細書、著作権フリー音源であることを示すレーベル等のコピー、その他使用したすべての著作物について使用許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 番組進行表の大きさはA4縦判・左上1カ所留めで、3部作成する。

(6) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

- ・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・ラジオと静止画の特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a) 制作の手法

(b) 取材の方法や努力

(c) 企画構成

(d) 演出・編集

(e) 技術

- ・録音・撮影の技術
- ・アナウンスやナレーションの技術
- ・音楽や効果音の使い方など

4. ビデオメッセージ部門

(1) 内容 郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内容。

(2) 規定時間 5分以内

(3) 制作様式 次のア～カにより制作する。

ア NTSC ワイド 16:9・DVD-Video 形式の DVD-R、または、MPEG-4・AVC/H.264・BD-RE 形式の BD-R、ならびにバックアップメディア (BD-R または DVD-R) を提出する。

イ DVD とケースには、エントリー番号 (エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること (様式自由)。

ウ 音声の再生は、ステレオで行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 本編の前後に 5 秒間ずつ、様式 3 のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ 計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの最初までとする。

(4) 番組進行表様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 2-1、2 ページ以降は様式 2-2 による「CUE シート」、様式 2-3「使用著作物一覧」、様式 2-4「音源使用許諾書」、様式 2-5「取材許諾・著作物等ご提供のお願い」とする。他の著作物を使用していない場合はいずれも「なし」と記載する。

ウ 他の著作物を使用した場合は、JASRAC 等の明細書、著作権フリー音源であることを示すレーベル等のコピー、その他使用したすべての著作物について使用許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 番組進行表の大きさは A4 縦判・左上 1 カ所留めで、3 部作成する。

(5) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

- ・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a) 制作の手法

(b) 取材の方法や努力

(c) 企画構成

(d) 演出・編集

(e) 技術

- ・撮影・録音の技術
- ・アナウンスやナレーションの技術
- ・音楽や効果音の使い方など

5. ラジオキャンペーン部門

(1) 内容 指定するキーワードを題材とした番組。

ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ 内容や構成は自由とするが、学校生活のみならず、広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ 番組は、参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや、他の作品などからの脚色や改作は認めない。

エ 放送番組として不適切な内容を含まないこと。

(2) キーワード 「ガマン」

(3) 規定時間 30 秒以上 1 分以内

(4) 制作様式 次のア～キにより制作する。

ア CD-DA 形式で作成した CD ならびにバックアップ CD を提出する。

イ メディアとケースには、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 再生は、原則としてステレオ(L/R)で行う。

エ 最初に「ラジオキャンペーン部門」「作品名」の順でクレジットコールを入れたのち、3 秒後に本編を開始する。

オ 本編の最後の音から 3 秒後に「制作は〇〇高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

カ クレジットコールにはBGMや効果音をつけない。

キ 計時は本編の最初の音から、終わりのクレジットコールの「制作は〇〇高等学校(放送部・委員会)でした」の「せ」の音までとし、その計測値から 3 秒を差し引いた値をもって再生時間とみなす。

(5) 番組進行表様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 2-1, 2 ページ以降は様式 2-2 による「CUE シート」、様式 2-3「使用著作物一覧」、様式 2-4「音源使用許諾書」、様式 2-5「取材許諾・著作物等ご提供のお願い」とする。他の著作物を使用していない場合はいずれも「なし」と記載する。

ウ 他の著作物を使用した場合は、JASRAC の明細書、著作権フリー音源であることを示すレーベル等のコピー、その他使用したすべての著作物について使用許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 番組進行表の大きさは A4 縦判・左上 1 カ所留めで、3 部作成する。

(6) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

(a) 指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか

(b) ラジオの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a) 制作の手法

(b) 取材の方法や努力

(c) 企画構成

(d) 演出・編集

(e) 技術

・録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

6. テレビキャンペーン部門

(1) 内容 指定するキーワードを題材とした番組。

ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ 内容や構成は自由とするが、学校生活のみならず、広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ 番組は、参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや、他の作品などからの脚色や改作は認めない。

エ 放送番組として不適切な内容を含まないこと。

(2) キーワード 「ガマン」

(3) 規定時間 30 秒以上 1 分以内

(4) 制作様式 次のア～オにより制作する。

ア NTSC ワイド 16:9・DVD-Video 形式の DVD-R、または、MPEG-4・AVC/H.264・BD-RE 形式の BD-R、ならびにバックアップメディア(BD-R または DVD-R)を提出する。

イ メディアとケースには、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 音声の再生は、原則としてステレオ(L/R)で行う。

エ 本編の前後に 5 秒間ずつ、様式 3 のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。
オ 計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの最初までとする。

(5) 番組進行表様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 2-1、2 ページ以降は様式 2-2 による「CUE シート」、様式 2-3「使用著作物一覧」、様式 2-4「音源使用許諾書」、様式 2-5「取材許諾・著作物等ご提供のお願い」とする。他の著作物を使用していない場合はいずれも「なし」と記載する。

ウ 他の著作物を使用した場合は、JASRAC 等の明細書、著作権フリー音源であることを示すレーベル等のコピー、その他使用したすべての著作物について使用許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 番組進行表の大きさは A4 縦判・左上 1 カ所留めで、3 部作成する。

(6) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

・指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a) 制作の手法

(b) 取材の方法や努力

(c) 企画構成

(d) 演出・編集

(e) 技術

・撮影や録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

7. 審査員(全部門共通)

専門職審査員と教育職審査員の 5 名以上で行う。

8. 採点・講評(全部門共通)

(1) 部門の「審査の視点」に基づき、100 点法、1 点刻みで総合的に採点する。

(2) 採点のめやすは次のとおりとする。

20 30 40 50 60 70 80 90 100

普通 良い 大変良い

(3) 各審査員は、得点一覧を、会場ごとに定める審査主査に提出する。

(4) 各審査員は、すべての発表ごとに、講評を記載する。

9. 得点集計および順位(全部門共通)

(1) 得点集計と順位

審査員の最低点を除いた合計点の高い順に順位を決定する。

(2) 順位決定の特例

合計点が同じ場合は、カットされた得点の高い方を上位とする。

(3) 審査会

最終的な順位決定は、部門ごとの審査主査と専門職審査員による審査会で行う。ただし、予選については、審査主査に一任する。

10. アナウンス部門・朗読部門決勝

(1) 決勝進出者は決勝審査直前に中ホールで発表する。

(2) 決勝のエントリー順は、無作為に指定する。

(3) 決勝審査では、予選の得点を参考にしない。

11. 規定違反(全部門共通)

(1) 規定違反は審査の対象としない。なお、重大な違反が判明した場合は、大会後においても賞を取り消すことがある。

(2) 計時の許容範囲は、アナウンス部門と朗読部門は±2 秒、番組 4 部門は±1 秒とする。

(3) アナウンス部門と朗読部門の決勝の規定時間違反に限り、失格とせず決勝進出のうちの最下位とする。

12. 講評・審査結果一覧(全部門共通)

(1) 講評用紙は、各校に配付する。

(2) CD・DVD 等は、該当校に返却する。

(3) 審査結果一覧は、顧問に配付する。

